

2020年度活動概要

2020年度はCOVID-19の影響によって基本的には、前期は全てオンライン、後期は対面とオンラインの併用での授業になった。オンライン授業はこれまで全く実施していなかったため、各教員が工夫をしたり、困ったことが多くあった。その内容は各教員の中に留めるのではなく、共有することでオンライン授業がよりよいものになると考え、情報共有を実施した。また、オンライン授業を推進するための研修会を2020年9月および2021年3月に実施した。授業評価アンケートは対面での授業を想定したものを以前は実施していたため、オンライン形式に対応する形のアンケートを作成した。

1. 全学での取り組み

(1) オンライン授業の情報共有

オンライン授業での工夫した点や困った点などを教員から収集・共有した。その結果、106項目にもおよび情報が集まった。内容は、課題やフィードバックに関することから、ツールの実施方法など多岐にわたった。検索を容易にするためのまとめシートを作成して、情報共有シートとあわせてMoodle上で配布した。

(2) 授業評価アンケート

前期授業評価アンケートでは、オンライン授業に対応するアンケートを作成・実施した。アンケートの実施では、紙媒体での配布・回収ができないため、Campus Squareを用いた。Campus Squareでのアンケート機能では、結果の公開をCampus Square上でも可能であるものの、少人数科目での学生の匿名性を保つため、教員へは紙媒体で結果を返却した。外部業者に集計等を委託していた2019年度以前と比べると、早く教員に結果を返却することができた。そのため、後期の授業改善につなげやすかったものと考えられる。

後期授業評価アンケートでは、対面・オンラインの両方に対応するため、それぞれのアンケートを実施した。また、オンライン授業では中間アンケートを実施して、授業期間内での改善を目指した。結果の返却は基本的にCampus Squareで実施した。ただし、読み替え科目等では、同様に学生の匿名性を保つため前期と同様に紙媒体での返却をした。

(3) 研修会の実施

オンライン授業を推進するために、研修会を実施した。2020年9月の研修会では「授業形態別ラウンドテーブル(授業実践の共有と意見交換)」「オンデマンド型授業の設計方法」「オンデマンド配信の基本スキル講習」の3つを実施した。2021年3月の研修会では「MoodleやTeamsを使った双方向の授業」をオンデマンド形式で実施するとともに、同時双方向のオンライン形式での質疑応答も実施した。これらによって、今後のオンラインおよび対面授業の向上につながると考えられる。

2. 各学科での取り組み

各学科で、オンライン授業対応のための勉強会や講演会などの取り組みを実施した。